

第 1 回中央区地域福祉計画推進協議会議事要旨

- 1 日 時：平成 21 年 6 月 23 日（火）午前 10 時から正午
- 2 場 所：中央保健福祉センター大会議室（きぼ一 11 階）
- 3 出席者：委員 28 名中 21 名出席（欠席委員：7 名）
- 4 事務局：10 名

< 次 第 >

- 1 開会
- 2 千葉市保健福祉局次長挨拶
- 3 委員紹介（新任 4 名中 3 名）
- 4 事務局職員紹介
- 5 会議の公開について
- 6 中央区地域福祉計画推進協議会設置要綱の一部改正について
- 7 議題
 - （1）委員長・副委員長の選任について
 - （2）区地域福祉計画の見直しについて
 - （3）区地域福祉計画の見直し体制について
 - （4）区地域福祉計画の推進状況について
 - （5）千葉市地域福祉推進モデル事業の実践例の報告について
 - （6）その他「推進協議会だより第 7 号」について
- 8 閉会

○議事要旨（次第に従い、議事が進められた）

- ・議題に入る前に、事務局から「会議の公開」について説明。
- ・説明に対して、異議なくこれを承認。
- ・傍聴人：1 名

○中央区地域福祉計画推進協議会設置要綱の一部改正について

- ・事務局（福祉サービス課）より、別添「資料 1：中央区地域福祉計画推進協議会設置要綱新旧対照表」等に基づき、「区計画の見直し」を本協議会において行うため、要綱を一部改正する旨を説明し了承を得た。

議題（1）委員長・副委員長の選任について

※中央保健福祉センター所長が仮議長として議事を進行。

- ・仮議長より、「中央区地域福祉計画推進協議会設置要綱第 5 条第 2 項」について説明。
- ・委員より、委員長に武井委員、副委員長に樽見委員を推薦する意見があり、満場一致で承認を得た。

議題（２）区地域福祉計画の見直しについて

※事務局（市保健福祉総務課）より、別添「資料：議題（２）区地域福祉計画の見直しについて」に基づき説明。

- ・ 6月11日に第3回千葉市地域福祉推進協議会を開催し、各区計画は平成18～22年度迄の事業であるが、半分を過ぎて事業の見直し作業を行う必要があることを説明し、見直し方法について議論を交わした。

ア 見直しの主旨について

- ・ 地域福祉を取り巻く環境の変化に対応し、現計画の取組状況と課題を検証、反映する。

イ 見直しの考え方・ポイントについて

①市計画と各区計画の役割分担の整理

- ・ 住民が参加、活動する内容を位置付けた「区計画」と、行政が取り組むべき内容を位置付けた「市計画」の役割分担を整理し、公助の事業内容を「市計画」に位置付ける。

②現状に則した修正

- ・ 社会経済や国等の動向、その他の諸事情の変化を踏まえて修正を行い、必要に応じて適切な取組項目を新たに設定する。

③区計画のメリハリ

- ・ 区の特色に合わせた課題への対応を図るため、優先して取組項目を設け、取組みを強化する。

④担い手の明確化

- ・ 区計画を着実に推進するため、計画を実行する担い手を出来る限り明確化する。

ウ 見直しのイメージ

- ・ イの見直しの考え方・ポイントを図式化したものを提示。

エ 現計画の見直し方法

- ・ 区推進協委員は、計画の推進状況や課題を熟知しているため、見直し作業は区推進協で行う。
- ・ 現状に則した修正（新たな生活課題等の追加）も、区推進協委員による地域からの吸い上げで対応可能と考える。

オ 今後のスケジュールのイメージ

- ・ 計画骨子案は、インターネット（市政モニター）1,000人の方から意見を頂く、市民説明会の開催、パブリックコメント等を経て平成22年度末までに最終案を策定する。

※議題（２）区地域福祉計画の見直しについての質疑応答

意見：委員（公募）

- ・ 見直し方針について、市民として実施すべきものと行政が実施すべきものと整理することは非常に良いことと思う。
- また、担い手の明確化は責任がはっきりするので良いことである。

Q1：委員（民生委員児童委員協議会：葛城中学校地区）

- ・ 要望であるが、資料や説明の中での言葉遣いが曖昧である。
- ・ メリハリは公式な言葉なのか、また、パブコメは何なのか分からないので、用語の言葉遣いは明確に願います。

A1：事務局（市保健福祉総務課）

- ・承知しました。

※まとめ：その他の意見はなく、議事については原案どおり承認された。

議題（３）区地域福祉計画の見直し体制について

※事務局（市保健福祉総務課）より、別添「資料：議題（３）中央区地域福祉計画の具体的な見直し方法について（案）」に基づき説明。

- ・見直しをどのような体制で行うかについて、次の①～③の方法を示した。

①事務局で原案を示し、区推進協の場で意見及び修正をいただく方法。

②事務局及び委員（数名を選出）で原案を練り、区推進協の場で意見及び修正をいただく方法。

③区推進協で作業チームを作るなどして、原案を練る方法。

※委員長より、参考として「地域福祉計画６区委員長の意見交換会の中では、②案が良いとの意見が多かった」との発言。

※議題（３）区地域福祉計画の見直し体制についての質疑応答

意見：委員（千葉市社会福祉協議会松ヶ丘地区部会）

- ・委員長より「②案」が良いと思うとの意見があったが、その意見に賛同する。
「区計画」にメリハリをつけるのは非常に良いことである。
- ・①案の事務局のみで作成してしまうと、市民の批判を受けてしまう可能性がある。
- ・③案は「公助から行政への移行内容」など、行政との意見調整が必要となるため、協議等に手間がかかってしまうこととなる。

意見：委員（公募）

- ・②案について、数人の委員を選出するのであれば、その中に共助についてキーマンとしての役割が期待される「あんしんケアセンター」の委員を入れて欲しい。

Q 1：委員（民生委員児童委員協議会：生浜中学校地区）

- ・選出された委員は、どの様に事務局と接点を持つのか。

A 1：委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

- ・適宜、選出委員及び事務局とで会議を開くことになる。
- ・事務局及び選出委員で協議した検討案について、次回の推進協に諮るようになる。

○ 各委員に諮った結果は次のとおり。

- ・採決の結果：①案・・・１人、②案・・・１９人、③案・・・１人がそれぞれ支持し、協議のうえ「②案で見直しを進める」ことが決定。
- ・作業グループのメンバーについては、互選の結果、
武井 雅光委員長（中央区町内自治会連絡協議会）
樽見 歳子副委員長（千葉市社会福祉協議会東千葉地区部会）
板倉 清隆委員（中央区老人クラブ連合会）
齋藤 達 委員（公募）
鈴木 甫 委員（千葉市社会福祉協議会中央地区部会）
鵜田 知子委員（民生委員児童委員協議会：生浜中学校地区）
西 陽子委員（あんしんケアセンターうらら）
矢部 英一委員（ファミリー・サポート・センター会員）の８名を選出。

議題（４）区地域福祉計画の推進状況について

※事務局（市保健福祉総務課）より、別添「資料：議題（４）中央区地域福祉計画の推進状況の把握の考え方、中央区地域福祉計画の進捗状況（①計画推進に向けて実践されている項目、②計画に合致していないが、関連して実践されている項目、③実践事例の情報提供が無い、または未実施の項目）」に基づき説明。

- ・資料「区計画の推進状況の把握の考え方」は、現区計画では、基本方針に基づいて、51事業の具体的取り組みを行うことを目標としている。
- ・区推進協では、推進状況を把握する手段として、51事業の項目を、「①計画推進に向けて実践されている項目、②計画に合致していないが、関連して実践されている項目、③実践事例の情報提供が無い、または未実施の項目」に大きく分けて3分類した。
- ・3分類の中でも、各項目において、更に細かく分類項目を設けることについて、昨年度の推進協の中で各委員と確認した。
- ・資料「中央区地域福祉計画の推進状況」は、分類に併せて各項目の説明、実践事例が記載されている。
- ・今後、「区計画の見直し」を行うにあたり、現在取り組まれている項目の、一層の推進も必要だが、行われていない項目が、何故、行われていないのか、行われるためには何が必要なのか、を考えていくことが重要であると考えている。
- ・各委員の知り得る範囲で、今後も情報提供をいただきたいと考えている。
- ・取組状況の把握、情報の集約については今後、区社協の協力をいただきながら、「区計画」の見直しに併せて行っていきたいと考えているので、委員の皆様の引き続きのご協力をいただきたい。

※議題（４）区地域福祉計画の推進状況についての質疑応答

Q1：委員（千葉市社会福祉協議会寒川地区部会）

- ・分類について、説明をお願いしたい。

A1：事務局（市保健福祉総務課）

- ・資料「②計画に合致していないが、関連して実践されている項目」を参考に「18 ドッキングプレイス」について説明して了解を得た。

意見：委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

- ・各項目の51事業の推進状況については、本日の資料を各地域に持ち帰って、再度、内容を検討するとともに実施状況を把握し、情報を追加したい。
- ・少なくとも地区部会単位は早いタイミングで見直したい。
- ・地区部会の代表が委員ではない地区については、情報も乏しいと思われるので、「中央区地区部会連絡会」で話し合いをしたいと思っている。

Q2：委員（中央区町内自治会連絡協議会）

- ・取組主体の単位の分類について、集計が分かる様な纏め方について事務局で考えた方が良いのではないかと。

A2：事務局（市保健福祉総務課）

- ・面的な広がりとの視点がないので難しいが、地区部会単位で考えれば良いのではないかとと思うので、資料も工夫したい。

Q3：委員（ファミリー・サポート・センター会員）

- ・「いきいきサロン」について、地元の自治会あるいは老人クラブ等で社協の助成を受けずに各々実施している活動もあるが、この様な実施事業も挙げて良いのか。

A 3：事務局（市保健福祉総務課）

- ・社協の助成外活動であっても貴重な情報であるので、ぜひ提供をお願いしたい。

意見：委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

- ・地域で実施している事業については極力情報提供願いたい。

議題（５）千葉市地域福祉推進モデル事業の実践例の報告について

※事務局（社会福祉協議会中央区事務所）より、事業の趣旨等について説明。

- ・地域福祉を推進するためには、地域福祉の推進という共通目的を持つ市民、行政が、それぞれの役割分担の下に生活課題の解決に向けて努力していくことが必要である。
- ・このため、「自助、共助、公助」が適切に連携し、地域全体で支え合い助け合う地域社会づくりが必要となる。
- ・昨年度より、「自助、共助」による地域全体で支え合い助け合う活動を位置付けた「区地域福祉計画」を具体的に実践していくために、区計画に位置付けた取組項目を実践する団体に対して助成を行う「地域福祉推進モデル事業」を実施している。
- ・中央区管内は４地区部会が選出され、本日はその内「ちば中央地区部会、白旗台地区部会の各委員」より、事業の内容を配布資料に沿って説明する。

アちば中央地区部会：災害時ひとりも見逃さない地域の体制づくり

- ・事業名決定の基盤は「①千葉市の施策より、健やかに安心して暮らせる快適な街づくり、②地域住民のアンケートより、住民同士の支え合いと要支援者への思いやり活動、③地域民生委員児童委員協議会の方針により、災害時に要支援者を地域で支え助け合えるコミュニティづくりの活動」である。
- ・地区部会の中の専門委員会「福祉ネットワーク委員会」が担当している。
- ・現在、「体制づくり」のために、地域の実態や住民の意識調査など基礎的な研修会を開催。

○活動の概要は次のとおり。

- ・事業内容についての地区部会関係者への説明会開催。
- ・淑徳大学准教授を講師に迎え、防災時の重要事項や問題点を摘出。
- ・千葉市総合防災課職員を講師に迎え、市の防災体制について学んだ。
- ・地区部会長より、地区部会の要支援者サポートの体制について説明。米本団地（八千代市内）防災担当者を講師に迎え、先進活動地区における活動事例を学んだ。
- ・県生協役員を講師に迎え、阪神淡路大震災の実体験を通して学んだ災害防衛の心得を聴取。
- ・今年度の活動においても、地区部会を中心に地域住民の方たちの協力を得ながら事業を推進していく。

イ白旗台地区部会：すべての子どもを地域で育てる体制づくり

- ・地区部会は昭和６２年に設立され、町内会長４１人、８３人の理事がいる。
- ・その他に民生委員児童委員及び老人クラブの方が２０人、ボランティア協力者１８人、食生活改善推進員等の中から「すべての子どもを地域で守る：モデル事業特例委員会」として委員を５８人選出して活動している。
- ・大森、宮崎、大巖寺小学校へモデル事業の説明会を実施した。

- ・モデル事業委員が子ども、教職員、保護者が同行して通学路の実態調査を実施し、各小学校校区ごとに内容を取り纏めた。
- ・子ども110番の家を確認するとともに、子どもが挨拶等を行った。
- ・平成20年度に中央警察署、少年センター、学校と連携し駆け込み訓練を実施した。
- ・モデル事業特別委員会全体会を行い、反省会及び次年度に向けた方針や対策等を協議した。
- ・事業内容や協力のお願いの広報紙を作成し、各町内自治会に回覧（650部）するなど、また、協力団体、協力者、関係者等へ配布（200部）のPR活動を実施した。
- ・本日の千葉日報に「地域で子どもを守ろう：大森小学校で防犯教室を開催」との内容が掲載され、全児童、教職員、地区部会、地域ボランティア、千葉中央警察署生活安全課、県警少年課少年センターが参加し、「普段から子どもと交流を持ち、いざという時に頼れる人がいる地域づくりを目指す」ものである。

議題（6）その他「推進協議会だより第7号」について

※事務局（社会福祉協議会中央区事務所）より説明。

- ・「推進協だより第7号」の発行は、第2回中央区地域福祉計画推進協議会終了後の予定。
- ・構成については、第1，2回中央区地域福祉計画推進協議会の議事内容、活動紹介として、「中央地区部会、新宿地区部会」の内容、委員の一部の方が変わっているため委員構成及び、また、「今後の活動紹介コーナー」については、各委員から提出頂いた平成21年9月～12月までの行事予定を掲載する予定。
- ・本日配付した原稿の依頼文書に基づき、原稿、行事予定表（行事名、日程、場所、担当者・連絡先）について、第2回中央区地域福祉計画推進協議会開催時に持参いただく。

以 上